

「イマジン ローターリー」掲げ 世界を変える行動人として活動

世界各地の職業人と、地域社会のリーダーからなる国際ロータリー。1世紀以上にわたり、人びとに奉仕し、高潔さを奨励して、世界平和の実現に貢献してきた。今年7月、女性として初めてジェニファー・E・ジョーンズ氏が国際ロータリー会長に就任した。掲げたスローガンは「IMAGINE ROTARY(イマジン ローターリー)」。

世界にもたらせる変化をイマジン(想像)して大きな夢を描き、その実現のためにロータリーの力とつながりを生かすことだ。

国際ロータリーで理事を務める佐藤芳郎氏に、ポリオ根絶やウクライナ支援など、直面する様々な課題に対してロータリークラブがどのように取り組んでいるか、話を聞いた。



国際ロータリー理事 佐藤 芳郎氏

DEI重視 初の女性会長就任

——ロータリークラブとはどのような組織ですか。

最初のロータリークラブは1905年にシカゴで弁護士ポール・ハリス氏が仲間とともに設立しました。当時のシカゴは社会経済の発展の陰で、商業道德の欠如が目につきました。そこでハリス氏は、様々な分野の職業人が集まって知恵を寄せ合い、生涯にわたる友情を培うことのできる場をつくりたいと考えました。ロータリークラブの名は集会を持ち回りで順番に各自の事務所を開いたことに由来します。その思いは瞬く間に世界中に広がり、今では200以上の国と地域でクラブ数は4万6千以上、会員数約140万人の国際的な組織となりました。の中には、若い世代中心で作っているロータリーアクトクラブも入っています。

——目的と特色を教えてください。

我々の使命は国際ロータリーのネットワークを通じて、世界理解、親善、平和を推進することです。課題が山積する世界で、傍観者ではなく自ら行動する「世界を変える行動人」として、平和構築と紛争予防、疾病予防と治療、水と衛生、母子の健康、

イマジン、それは未来を描くこと



国際ロータリー会長
ジェニファー・ジョーンズ氏

「今の時代は平和と団結を必要としています。違いがあっても共通点を見出しお互いを受け入れることが大切です。」と語るジェニファー・ジョーンズ氏はカナダのオンタリオ州のウインザーで生まれ育ち、1996年にウインザー・ローズランドロータリークラブに入会。2007-08年度にガバナーを務め、今年度ロータリー117年の歴史上初の女性の国際ロータリー会長となった。

ウインザーのMedia Street Productions Inc.の創業者兼社長。ウインザー大学の理事長、ウインザー・エセックス地域商工会議所会頭を務めた。YMCA Peace Medallion、Queen's Diamond Jubilee Medalを受勲。カナダ人初のウイン州立大学 Peacemaker of the Year Awardを受賞。

基本的教育と識字率向上、地域社会の経済発展、環境など7つの重点分野に対して、経験と知識を生かした社会奉仕活動や人道的活動に取り組んでいます。我々の強みは、世界各地にあるクラブがロータリー会員や支援者によって提供されたロータリー財団の資金を使って、その地域の課題解決や支援に直接かかわることができる点です。例えば、ウクライナ紛争勃発に際して、必要な物資を必要としている場所に、ウクライナの会員を通じて的確かつ迅速に届けることができました。

——今回女性初の会長としてジョーンズ氏が就任しましたね。

ロータリーのあらゆる活動において、「DEI(多様性・ダイバーシティ、公平性・エクイティ、包括性・インクルージョン)」を重視し、女性や若者の参加を呼び掛けている現在、ジョーンズ会長の就任は大きな意味を持つと思います。新会長が新たな活動方針「イマジン ローターリー」を発表した際、ポリオの根絶や平和の実現といった大きな夢の実現に向かって、会員一人ひとりが、何ができるかを考え、行動することが大切だと訴えました。私も国際ロータリーの理事として、その活動をリードし、最大限サポートしたいと考えています。

日本の津々浦々から ポリオ根絶呼びかけ

——昨年、日本のロータリークラブは創立100年を迎えましたね。

1920年に東京ロータリークラブが、日本で最初のロータリークラブとして設立されました。翌21年に国際ロータリーに加盟を承認され、現在日本のロータリークラブは2224を数え、会員数は8万4458人(2022年9月末現在)となっています。

——どのような活動を行っていますか。

7つの重点分野に対し、ロータリーのネットワークや補助金を生かした活動を行っています。日本は地域に密着した取り組みが多く、交流やボランティア活動を通じて視野を広げ、会員同士の友情や地域社会との絆を培っています。日本独自の取り組みとして、国内の留学生を様々な方面から支援する「米山記念奨学事業」もあります。また昨年9月には日本のあるロータリークラブが呼びかけた海岸清掃活動に、国内外約250団体、約3万人を超える参加がありました。まさにロータリーの持つネットワークの力を象徴するプロジェクトでした。

——今年度の重点プロジェクトは。

毎年10月24日は国際優先事項であるポリオ「世界ポリオデー」で、今年度は日本各プロに行動を起す呼びかけ、日本の津々浦々で「開催 地域性を取り組みが多数です。サイクリングで日プロジェクト、バスや車をポジエクト、バスや車をポジエクト、バスや車をポジエクトなどがあり、岐阜市、津市でバス演求めて、ラッピングします。また四国では、霊場をめぐる「四国札所」において、近隣のポリオ根絶祈願と同



10月1日
宗谷岬スタート

ポリオ根絶呼びかけ 自転車で日本縦断など

2750地区(東京南部)では、富澤為一ガバナーの「ロータリーを広めよう!」というスローガンの下、宮崎陽市郎次期ガバナーがサイクリングで日本縦断プロジェクトを実施中。北海道の宗谷岬から鹿児島県の佐多岬まで、ポリオ根絶を訴えながら自転車で走破。各地のロータリークラブがそれを応援。



10月16日 山陰通過

10月23日
佐多岬ゴール



2760地区(愛知)の電橋美久ガバナーは、自らラッピングカーに乗って愛知県の津々浦々を回り、ポリオ根絶を呼び掛けている。